

千葉市スポーツ推進委員連絡協議会・会報・第56号

対話
・
体指の輪

たいわ

発行者 千葉市スポーツ推進委員
連絡協議会
会長 宇留間 又衛門
事務局 千葉市市民局
生活文化スポーツ部
スポーツ振興課
電話 043(245)5968
印刷所 株式会社 デシオット



幕張西小 地区体育祭の様子



レクリエーションスポーツ実技講習会の様子（インディアカ）

日進月歩

千葉市スポーツ推進委員連絡協議会

会長 宇留間 又衛門



今年度より千葉市スポーツ推進委員連絡協議会会長に就任いたしました宇留間と申します。皆様におかれましては、日頃より千葉市のスポーツ振興のためにご尽力いただき感謝申し上げます。

人類に大きな影響をもたらした新型コロナウイルスも、一昨年五月に感染症法上の分類が五類に変更され、事実上、収束宣言がなされました。本会においても、全ての行事が完全復活したと言い切れるでしょう。感染症の脅威と隣り合わせだった約三年間、私たちは苦境の中で、様々なことを学びました。大人数が集まる研修の場で、時間や人数の制約がある状況では、効率よく進行を行うことが優先されます。そのため、必要最低限の内容を精査することで、自ずとスリム化を図ることに繋がりました。

このような経験を通し、無駄のないスムーズな運営を実践する知識や視点を習得しました。辛い長い暗黒期に思えたこの期間に、私たちは光明を見出したのです。この経験は、今後私たちの活動の更なる効率化を図っていく上で貴重な財産となりました。今年度実施された主な実技研修会は、皆様の積極的な参加により、どの会も二百人近い人数で開催されました。各専門部が限られた時間と場所、深い学びを得るための内容を検討し、実りある研修会になったと確信しています。特に研修会で行われた種目の中で、ウィッフルボールとインディアカは、これまであまり実践のないものでした。このような目新しい種目に挑戦することで、これまで以上に、スポーツのもつ魅力を探求するきっかけとなりました。スポーツがもつ力は絶大で無限の可能性があります。私たち推進委員が、その魅力を伝える体現者となり、千葉市の更なるスポーツ振興のため、ともに頑張っていきたいと思います。皆様、一年間ありがとうございました。

お礼

スポーツ振興課 課長

内山 拓之



スポーツ推進委員の皆様の皆様のおかげでは、日頃より市内各地区のスポーツ振興にご尽力いただき感謝申し上げます。

上げます。

昨年開催されたスポーツの祭典、パリオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍は、記憶に新しいところですが、千葉市ゆかりのアスリートも総勢十四名が出場し、オリンピックでは体操男子団体が賞選手が金メダル、パラリンピックでは、競泳一〇〇m平泳ぎで窪田選手が銀メダル、競泳一〇〇m平泳ぎで窪田選手が銀メダル、ボッチャで廣瀬選手、パラバドミントンで村山選手がそれぞれ銅メダルを獲得されました。選手の皆さんの活躍は、多くの市民に勇気と感動を与え、私も改めてスポーツの魅力を感じました。地域でのスポーツ活動の現場に目を移し

ますと、コロナの影響を脱し、制限のない中で各行事が開催され、多くの皆様がスポーツを楽しむことができたと思います。これもひとえに、スポーツ推進委員の皆様への御礼を申し上げます。改めて心より御礼を申し上げます。千葉市では、障害の有無や年齢、性別等に関わらず、生涯にわたって、誰もが、スポーツを身近に親しむことができるよう、環境づくりの推進に取り組んでおりますが、スポーツ活動にも影響する、少子超高齢化、ライフスタイルの多様化、夏の酷暑対策等、様々な課題もあり、地域ごとの実情に応じた柔軟な対応も必要です。今後、地域のスポーツ活動の振興は、第一線で活動いただいているスポーツ推進委員の皆様のご協力が不可欠であり、引き続きご協力賜りますよう、お願いいたします。結び、千葉市スポーツ推進委員連絡協議会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

新人スポーツ推進の声 地区行事のスナップ



中央区 区研修会の様子（ボッチャ）



花見川区 区研修会の様子（ドッチビー）



稲毛区 区研修会の様子（ハンドゴルフ）



緑区 区民祭りの様子



美浜区 区研修会の様子（ドッチビー）



若葉区 区研修会の様子（ボッチャ）

花見川区・幕張本郷地区 鈴木 仁美

令和六年度から参加させていただいております。私にとってこの活動は学生以来のスポーツにふれあう機会となりました。どのイベントでも、参加される皆さんが笑顔で楽しんでいる姿を見られました。地域とのつながりが少なくなる現代、世代を超えての活動はとても貴重だと思います。子供たちの人とふれあう楽しさや経験がもっと増えるお手伝いができたらいいなと思います。

花見川区・幕張本郷地区 鈴木 静江

令和六年度スポーツ推進委員を拝命しました。昨年度は地域協力員でお手伝いさせていただきました。十二月七日蘇我小学校体育館で新人スポーツ推進委員バレーボール審判講習会を受講しました。九人制ゴムの具体的な説明で分かり易く大変勉強になりました。新人の私は競技が安全に楽しみたいと思います。

稲毛区・草野小地区 渡辺 久子

自治会の振興会協力委員を経てスポーツ推進委員として活動させて頂いています。今まで、コロナにより色々と制限がありましたが、昨年の地区運動会では、それ以前と近い形で実施する事が出来ました。ただ子供の参加人数が少なく、残念に思うところがありました。これから、学校やPTA・地域のクラブ活動等に積極的に声をかけて参加人数を増やし、この会を盛り上げていければと思います。

稲毛区・都賀小地区 山口 勇夫

昨年二月に打診をいただき、令和五年に定年退職した自衛隊で培った体力を地域の為に生かせると思ったことや、土日に休める企業に転職したことから、令和六年度スポーツ推進委員を受託いたしました。各種イベントでのお手伝いが地域の皆さんや子供たちの楽しみと笑顔につながっていることに喜びを感じている次第です。今後はさらなる各種研修にも努め、地域スポーツの振興に貢献したいと思います。

中央区・大蔵寺小地区 下大迫正章

地区の推進委員を数年行ったのち、本年度よりスポーツ推進委員を受嘱致しました。今年度は十一月に八年ぶりに地区体育祭が行われました。約十年間止まっていたイベントを復活させるにはかなりのパワーや意気の衝突もありましたが、当日は天候にも恵まれ、また数多くの協力者のお陰で復活体育祭は成功だったと思います。これからも地域のスポーツイベントがどうあるべきかを考え、前進する工夫に努力していきます。

中央区・都町小地区 鈴木 正樹

オリンピックでは、テレビゲームのようなスポーツが競技対象にあがってきているそうである。かつて国民を動員するために利用されたスポーツが、消費者に媚びを売っているかのようである。しかし、そうした大枠とは別に、体を動かしたくなる人の欲望は変わらないだろう。そんな小さな人々の心を、すくいあげられたらいいなと思っている。

若葉区・千城小地区 田邊 誠司

令和六年度からスポーツ推進委員として活動させていただいております。十年以上に子供が小学生だった頃は、小学校と地域合同で運動会を行っていた推進委員の方が運営を行っており、委員の方は大変な思いながら参加していました。今はその運動会も無くなっていますが、地域の皆様のお役に立てるよう頑張って活動していきますので、今後ともよろしく願っています。

若葉区・千城台西小地区 富澤ゆかり

PTAゴムバレーで十年程活動し引退後、スポーツ推進委員を受嘱させていただきました。高齢化が何かと課題の一つになっているご時世、推進委員も高齢化しているのかと思っており、今後このような活動を維持していくのも大変なのかと思っています。自分が出来ることをし、この活動が継続できるように、継続の協力者が増えるよう微力ですが、尽力したいと思っています。

美浜区・真砂地区 川畑ふみえ

推進委員になってこの春で一年になります。何も分からずメンバーになり、バレーボール大会、グラウンドゴルフ大会、ボッチャ大会等を通して参加されている皆様は笑顔でプレーされているのを見て元気を頂きました。これからも皆様に楽しんで頂けるよう頑張りたいと思います。

美浜区・磯辺地区 塚本 章博

令和五年にマンシヨンの掲示板にスポーツ推進委員募集とあるのを見て応募しました。私事ですが、少々太り過ぎて、身体を動かして痩せられると思いまして。ボッチャやモルックなど新しい種目の研修などがあり楽しく参加しています。今後はこういった新しいスポーツにも多くの方々に参加して頂き、微力ながらそのお手伝いが出来ればと思っています。

緑区・おゆみ野地区 岡本 由香

令和六年度よりスポーツ推進委員として活動しております。きっかけは子供が小学生の頃に学校の役員をしており、また何かお手伝い出来ればと思い応募しました。何も解らず審判実技講習会やバレーボール大会、ソフトボール大会、地域のスポーツ祭に参加させて頂き皆様の笑顔を見て自分自身が楽しませて頂きました。今後も地域の皆様に楽しんで頂けるよう頑張りたいと思います。

緑区・椎名地区 菅谷 恵市

年齢制限がなくなり、八年ぶりにスポーツ推進委員に復帰しました。椎名小地区では、さまざまなイベントを実施することで地域の方が交流する機会を設けています。ただ、地域での高齢化が進行していることもあり、イベントへの参加者は減少傾向にあります。この課題を解決するため、年齢性別関係なく誰もが気軽に楽しめる場を今以上に提供していくとともに、地域の更なる活性化に取り組んでまいります。

救命救急法短時間講習に参加して

広報専門副部長 志村 幸子

令和七年二月八日(土) 十時〜十二時、千葉市役所X1会議室(二〇一・二〇三にて、広報・研修専門部が担当する救命救急講習会(短時間)を開催いたしました。参加者の内訳は、新人を含むスポーツ推進委員が二十七名と広報・研修専門部九名の計三十六名が救命法を熱心に学びました。

講師には、日本赤十字社千葉県支部の救急救指導員である森修治様・橋本奈緒美様・大澤真美様・眞鍋よし子様をお招きしました。森指導員と大澤指導員は昨年のご指導頂いた方です。

宇留間会長の挨拶と講師紹介後、まずは座学で、救急法の心得を教えていただきました。傷病者を発見した時に、自信と勇気をもって対応するには、講習会(一次救命措置の実技)はとても有効であることを学びました。その後、森指導員解説のもと、女性三名の指導員が傷病人・胸骨圧迫をする人・AEDを運ぶ人の役になり、一次救命処置を実演し、参加者は見学しました。

いよいよ三人一組での実技開始です。傷病者は仰向けに寝る。発見者で胸骨圧迫する人は、「人が倒れています。周囲危険なし。大出血等なし。もしもし大丈夫ですか(三回)誰か来てください。あなたは一九番通報をお願いします。あなたはAEDを持って来て



広報研修会(救命救急講習)の様子

下さい。呼吸なし。」と声を出す。↓胸骨圧迫(胸の真ん中を手掌基部で垂直に一分間一〇〇〜一二〇回を、強く・早く・絶え間なく圧迫する。)↓AED(運び役と胸骨圧迫者はメッセージ通りにする。)と胸骨圧迫を繰り返す。↓救急隊へ引き継ぐ。」この過程を、参加者全員が体験しました。その間指導員は巡回し、懇切丁寧な手ほどきをしてくださいました。

命を救う講習に、参加者の意欲は旺盛で、終了後のアンケートには、「傷病者へ駆け寄る勇気・心臓マッサージの力加減・周囲への助けの求め方・声かけ・一秒でも早い対応・大変勉強になった。」等の声が寄せられました。先日、バイスタンダーの役割についての番組を見ました。バイスタンダーとは救急現場に居合わせた人を指し、救急通報してから救急隊が到着するまでの間、応急手当を行う役割を担っていました。まさに広報・研修部が開催した一次救命処置でした。各地に設置されている胸骨圧迫と比べ救命率七倍といわれているAED。臆せず対応できるバイスタンダーになりたいと思います。

バレーボール専門部について

バレーボール専門部長 吉松 卓郎

本年度からバレーボール専門部長になりました吉松です。宜しくお願い致します。バレーボール専門部では家庭バレーボール大会の他に、バレーボール審判実技講習会、主審実技講習会、新人審判実技講習会、スポレク祭、市P連バレーボール大会協力等を実施しております。審判講習会の開催内容については概ね現状で良いと思われませんが、主審を行うには不安がある方も多くみられています。自信をもって主審を行う為には、講習会だけでなく経験を積んでいくことも必要だと思います。各地区において審判を行う機会を設けていただくなどご協力をお願い致します。

スポレク祭や市P連バレーボール大会の協力については、専門部だけでは足りず前専門部長や他部のお力もお借りして何とか専門部の活動ができてるのが実情です。コロナ禍が明けてスポーツ活動が再開する中、徐々に活動者が増えてきているように感じています。専門部の活動とともに各地区での活動も重要です。運営する専門部やスポーツ推進委員の負担も大きくなってきております。

千葉市においては、家庭バレーボール大会をはじめとするゴムバレーボールの活動が根付いており、継続していきたいと思えます。そのためには専門部だけでなく、スポーツ推進委員の皆様の御協力なくして成り立ちません。何卒ご協力の程、宜しくお願い致します。引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



バレーボール審判実技講習の様子

地区PR

西小中台小地区推進委員 池上 裕章

現在、西小中台小地区は諸事情により活動を休止しています。活動していたころは年間七つ程度の行事をおこなっており、お子様からお年寄りまで幅広い世代の方々に参加いただいていた。春のウォーキングでは往復約十キロの道のりを新緑を眺めながら歩き、みんなヘトヘトになりながらゴールしました。秋の地区運動会では約六百人が参加し、大小十二の自治会を四つのチームに分けチーム対抗として大いに盛り上がりました。冬には風作り・風揚げをおこない、手作りの風を揚げてお汁粉を食べたりしました。また、グラウンドゴルフやポッチャなど年齢に関係なくできる競技をとおして地域の方々との交流をしていました。今は、スポーツ推進委員や協力者を募集しつつ、活動再開に向けて動いているところです。

小中台小地区理事 重富 弘毅

小中台小地区は、推進委員八名で活動しております。近年学校周辺にマンションが増え、児童数千名を超す千葉市一のマンモス校です。

地区活動としては歩こう会、スポーツ教室、ラジオ体操、地区体育祭と年間を通して千二百名の参加を頂いております。自治会員の高齢化に伴い、行事への参加者減少、マンションの未加入問題等、参加者を増やすためのマンションへの働きかけなど課題山積の状態です。現状は自治会にチラシ配布、回覧、掲示頂いて参加者を募っておりますが効果はありません。

自治会員と行事を繋ぐものは何かと考えた際に、個人競技で行っていた地区体育祭



小中台小地区 地区運動会の様子 ※重富さんから提供

をブラッシュアップしたらいいんではないかと意見が出ました。推進委員メンバーを中心に校長、教頭先生を始め自治会長、PTA役員、スポーツクラブチームの方々に様々な意見を頂戴しながら検討を重ねてきました。案として以前より夏休み前に児童に配布していた、ラジオ体操の案内に九月に実施する地区体育祭を加え自治会員以外にもPR、今迄はスポーツ推進委員のみで行っていた運営側に参加頂く団体にお手伝いをお願いしました。地区体育祭としてスタートしたコロナ明けの令和五年度は百二十九名、今年度は百二十名の参加者を集客し、関係者のご協力もあり無事開催することが出来ました。特に好評なのがパン食い競争、二人三脚、綱引きです。課題は自治会の参加が十八のうち三と少ない事です。地区体育祭の取組で得た学校やスポーツクラブとの協力体制を成功事例に歩こう会、スポーツ教室の刷新、従来の行事を見直し、今までの枠に捉われない形で今後も改善、改革に取り組んでいきたいと思っています。

生浜小・生浜東小地区理事 小倉 英幸

私たちの活動する生浜小・生浜東小地区は、中央区の東側に位置します。現在、推

進委員八名で活動しています。

私は、四十年ほど前に生浜東小学校を卒業しましたが、夏休みにソフトボール大会をしたのをよく覚えています。その当時の社体の役員さんが、朝早くからソフトボールの練習をさせてくれました。今のジュニアスポーツ大会です。

生浜地区はゴムバレーボールも昔から盛んです。強いチームが沢山ありました。家庭バレー地区大会を毎年開催しています。が、いろいろな世代の選手が一つのコートで一つのボールを追いかけます。おじいさん、おばあさんから孫の世代と一緒に出来るバレーボールは素晴らしいと思います。多くの方がバレーボールを楽しめるようにルールを改定してできた今のバレーボールだからこそ、長い間皆さんに愛されてきたのだと思います。

昔は、地域の繋がりも深く「子供会」もありました。今は、行事に人が集まらず子供達の数が少ないのは、どの地域でも同じ悩みだと思います。先輩達に教えてもらいながら若い世代と協力し、新しい活動の方法を考えていきたいと思っています。



生浜小・生浜東小地区
地区行事（ゴムバレーボールの様子）
※小倉さんから写真提供

おゆみ野地区理事 米田 智志

おゆみ野地区は、三中学校六小学校区の地域を対象として推進委員七名で活動しています。おゆみ野には各学区を繋いだ一周六・四kmの遊歩道があり、とても環境に恵まれたエリアです。行事は、小学生を対象にしたドッジボール大会、自治会親睦のソフトボール大会、市民体育祭代替行事のスポレク祭等を開催しています。

おゆみ野地区体育祭はコロナ禍以前まで実施していましたが、自治会協力員の負担軽減や、幼児から年配の方まで気軽に参加できる催しを検討した結果、スポレク祭としました。

令和六年度は、更に参加しやすいように開催場所を三中学校区に分けて計三回実施し、各青少年育成委員会にも協力してもらうことで、ポッチャ、モルック、グラウンドゴルフ、ストラックアウト、輪投げなど、各種目を好きなタイミングで体験してもらえるように工夫した結果、合計約百四十人の参加がありました。

また、遊歩道を活用した駅伝の実行委員会にも参画し、地域活性化に貢献しています。今後も引き続き、地域の皆様に楽しんでいただける参加しやすいイベントを計画していきます。



おゆみ野小地区
地区行事（モルック）の様子
※米田さんから写真提供

受賞者の声

《文部科学大臣表彰》

皆で楽しく、楽しく！

轟小地区 中村 友春



この度、文部科学大臣表彰を賜り光栄に存じます。これも家族、住民、諸先輩に支えて頂いたおかげであり感謝申し上げます。

謝申し上げます。平成十一年に行った地区振興会創立三十周年記念誌発行、祝賀会が四十三年の奉職のなかで最高の思い出です。

轟小地区は子供から高齢者、体の不自由な方等気軽に楽しく参加出来る行事をモットーに活動（例えばスポレクは身も心も温まる豚汁を。グラウンドゴルフは誰にでもチャンスがあるニアピン賞。ソフトボールは好プレー、珍プレー賞等。体育祭は住民や先生も運営に携わり、数種類のスポーツを一行事で行うことで幅広い層の参加）をしています。

今後地域住民、町会、団体の協力を得ながら運営する者も参加者も、楽しく、楽しく、いい汗かこうをモットーにスポーツの振興・地域住民の交流に尽力いたします。

《全国連合表彰》

全国功労者表彰を受賞して

高浜地区 鈴木 孝子



令和六年十一月十四日・十五日の全国スポーツ推進委員研究協議会、宮崎大会表彰式にて、輝かしい賞を頂戴し誠に光栄に思います。

特別講演では、「スポーツのちからと地域社会」との題で千葉県出身のスポーツジャーナリスト増田明美さんでした。マラソンというスポーツの面白さや頑張り続ける選手たちの生き様についてご自身の人生と重ねながら楽しくお話ししていただきました。私も振り返りますと、平成四年から、スポーツ（体育）指導委員として皆様と一緒に活動し始めてから、三十二年間活動できたのは、地域の皆様、家族に支えられてきましたこと、感謝申し上げますと共に大切な思い出です。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

《関東功労者表彰》

成長させてくれた皆さんに感謝

都賀の台小地区 伊藤 征三



この度、関東スポーツ推進委員協議会と千葉市スポーツ推進委員連協より名誉の表彰を受ける事が出来た事は光栄の至り感謝の言葉以外見つけられません。私が旧称社会体育振興会に引継ぎ込まれたのは、昭和五十四年、団地に小学校が開校され旧称体育指導員四人任命された時からでした。何も出来ない自分でしたが振興課主催のバレーボール審判講習会、各種スポーツの実技講習等の積み重ねにより一人前のスポーツ推進委員に成長出来たと思っています。スポーツ振興課の研修で習った事を礎に地区で実践、年間行事の企画と実施を主に推進委員が担当する様になり地区住民の活力増進と地域の活性化に結びつく事の理解が出来て生き甲斐も感じる事が出来ました。これも皆様のご指導によるものと改めて感謝申し上げます次第です。

《千葉県連合功労者表彰》

「功労者賞」をいただいて

幕張西小地区 坂田 広子

受賞者のお知らせを頂いた時にまず思ったのは「随分、長い間続けていたのだな」という事でした。地域の皆さまと一緒に、一つ一つの活動を繰り返していたら、いつの間にか経っていたというのが実感といえると思います。

活動を通じて、新しいスポーツを知ったり、体験したり、地域の皆さまに紹介をすることで新しい仲間が増えたりと、自分も楽しみながら続けられたことが一番良かったのではないかと思います。年齢とともにできる競技も変わってきます。地域の中で最年少だったはずが、いつの間にか若い仲間が増え、これからの体力と気持ち若く保ち、生涯スポーツを念頭に続けていきたいと思っています。

今回の受賞を一つの区切りにもう一度気持ちを込めた活動をしたしたいと思います。



右から

坂田 広子さん

（幕張西小地区）

染谷由美子さん

（蘇我小地区）

丹治 理香さん

（稲丘小地区）

坂本 吉章さん

（稲毛小地区）

藤代 寛さん

（長作小地区）

令和六年度 晴れの受賞者

（敬称略）

おめでとうございます

☆全国スポーツ推進委員連合会永年勤続者（三十年）

○石川 進（宮崎） ○出浦伸之助（都賀の台）

○清宮 篤（若松）

☆関東スポーツ推進委員協議会功労者

（令和6年6月7・8日 千葉県成田市 重兵衛スポーツフィールド中台体育館）

○國吉 敏和（蘇我） ○伊藤 征三（都賀の台）

☆千葉県スポーツ推進委員連合会功労者

（令和7年1月19日 香取市佐原文化会館）

○坂田 広子（幕張西） ○染谷由美子（蘇我）

○藤代 寛（長作） ○丹治 理香（稲丘）

○大塚 育子（みつわ台南） ○小出 峰子（宮野木）

○馬場 廣明（磯辺） ○保坂 昇（花見川）

○片山 光栄（若松） ○谷本 高英（宮野木）

☆千葉県スポーツ推進委員永年勤続感謝状

○大西 孝（検見川） ○河野 ツユ（犢橋）

○佐藤 正義（犢橋） ○土屋 好夫（犢橋）

○星野 洋子（幕張） ○伊藤よしふ（幕張）

○立川 等（幕張） ○渡部 正好（花見川）

○坂本 吉章（稲毛） ○伊藤 昭信（山王）

○石川 俊成（柏台） ○市川 葉子（都）

○圓城寺恵子（鶴沢） ○高橋 法久（松ヶ丘）

○斉藤 旭（誉田） ○鯨井 睦雄（真砂）

○岩下 道雄（磯辺）

☆千葉市市政功労者

（令和6年10月18日・京成ホテルミラマール）

○渡邊美奈子（あやめ台）

☆千葉市スポーツ功労者

（令和7年3月2日 千葉市生涯学習センター）

○中西 正恵（磯辺） ○鈴木 講二（花見川）

○本多 豊彦（みつわ台南） ○内田 茂（土気）

○大塚 良治（大蔵寺） ○倉持 保彦（都）

令和六年度「スポーツ推進委員」活動日記

4月

4/20

第1回総務会
ポルトプラザちば

5月

4/27

総会・第1回理事会
千葉市役所正庁

顧問

会長

副会長 (花見川区会長)

副会長 (稲毛区会長)

副会長 (中央区会長)

副会長 (若葉区会長)

副会長 (緑区会長)

副会長 (美浜区会長)

会計

会計監査

会計監査

バレーボール専門部長

ジュニアスポーツ専門部長

レク・スポ専門部長

広報・研修専門部長

5/11 バレーボール専門部会

千葉市役所会議室XL201 (参加19名)

5/22 家庭バレーボール大会代表者会議

花島公園スポーツ施設

5/19 家庭バレーボール審判実技講習会

宮野木スポーツセンター (参加195名)

5/30 家庭バレーボール大会

グループ主任会議

Yohasアリーナ会議室



6月

6/7・8

関東スポーツ推進委員研究大会
千葉県成田市

(参加7人) (役員27人)

6/2 第61回家庭バレーボール大会

市内小・中学校体育館

6/15 ジュニアスポーツ専門部会

新宿小学校 (参加15名)

6/23 ジュニアスポーツ審判実技講習会

磯辺スポーツセンター (参加199名)

7・8月

7/6

第2回総務会・理事会
千葉市役所正庁

7/1・31

第64回ジュニアスポーツ大会
(役員354名)

8/31 レク・スポ専門部会

千葉市役所会議室XL301 (参加15名)

9月

9/8

レク・スポ実技講習会
磯辺スポーツセンター

(参加193名)



稲毛区ジュニアスポーツ大会の様子

10月

10/14

第66回市民体育祭兼地区体育祭
(スポーツの日を中心に、
役員1491名)

11月

11/2・9

第31回千葉市
スポーツ・レクリエーション祭
ソフトバレーボール
宮野木スポーツセンター体育館
(役員9名)

11/9 第1回会報編集委員会

千葉市役所会議室XL301 (参加9名)

11/14・15 第65回全国
スポーツ推進委員研究大会
宮崎県宮崎市 (参加8名)



緑区ジュニアスポーツ大会の様子

12月

12/7

家庭バレーボール審判実技講習会
(新人対象で開催・参加34名)
第3回総務会・理事会及び表彰式
(懇親会・祝賀会実施)
千葉市役所正庁

12/21

1月

1/19

第40回千葉県
スポーツ推進委員研究大会
香取市 (参加40名)
第2回会報編集委員会
千葉市役所会議室XL201 (参加10名)

1/31

2月

2/2

2/2を中心に開催
区レクリエーション大会及び研修会
各区開催 (参加263名)
広報・研修部会研修会
*千葉市役所会議室
XL201・XL203* (参加36名)

2/8

3月

3/1

第4回総務会・理事会
千葉市役所正庁
スポーツ指導者講習会
千葉市生涯学習センター (参加99名)

3/2

◆編集委員◆
☆委員長 牛原 三雄 (平山)
☆副委員長 志村 幸子 (幕張本郷) 重富 弘毅 (小中台)
野口憲太郎 (源) 塩田 久嗣 (稲毛二)
☆委員 阿部 信男 (作新) 大矢 建三 (きが丘)
内藤八洲夫 (千草台) 石塚 重信 (あやめ台)
渡邊美奈子 (あやめ台) 渡邊 敦行 (登戸)
永田 修司 (院内) 星山 章彦 (生浜西)
岸本 貞子 (北貝塚) 鶴養 勝也 (みづわ台北)
三波 隆 (千城台東) 山田 和子 (高洲四)